



河端家
下鶴
主屋

1 12畳という当時の一般的な間取りより広い1階の座敷 2 住宅の玄関へと続く門 3 4 土間は吹き抜けで、屋根を支える小屋組みを見ることができる 5 土壁が残る2階

多くの人に知ってもらい
地域に愛される場所にしたい

(株)ましきぐらしの一員として、益城町での古民家活用に関わり始めて半年が過ぎ、町民の皆さんをはじめ多くの人に、町内にも河端家のような古民家が残っていることを知っていたただく必要性を強く感じていきます。

まずは多くの人に知ってもらい、そして活用につなげるためのコミュニティづくりの一環として、これまでに3回「ましきっちゃん」という料理教室を開催しました。河端家は宿泊施設の他、飲食店としての活用も計画していますので、料理教室が、利用者になってくれる人・働いてくれる人を生むきっかけになることを願っています。

所有者の河端さんも、活用を期待して大切なお家を私たちに任せてくれているので、人が集まり地域に愛されるような場所になりたいです。



株式会社ましきぐらし
早川七瀬さん(古閑)

河端家概要



【建設時期】明治初期
江戸時代に砥川用水を開削した庄屋・富田茂七の子が河端家の養子となり、その河端家から分家し建てられた新家住宅。
平成28年熊本地震まで住居として使用されていたが、現在は株式会社ましきぐらしが管理し、宿泊や飲食の施設としての活用が計画されている。

古民家で益城の食材を味わうましきっちゃん



1 町内の飲食店のカレーに Grill した野菜を盛り付け。インドの漬物「アチャール」の他、町内産のブドウを使ったかき氷も 2 参加者とスタッフの皆さん

河端家で8月20日、町にぎわい活性化補助金を活用し第3回ましきっちゃんが開催されました。過去最多の参加者が集まり、町内産野菜たっぷりのカレーとインドの漬物「アチャール」、町内産ブドウのシロップと果肉を使ったかき氷で益城の夏を味わっていました。

